

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

資料5

協議会名: 愛知県バス対策協議会

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統)

【交通圏】	①補助対象事業者等		②事業概要		③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況						⑥複数市町村を跨ぐ系統/幹線系統としての役割	⑦事業の今後の改善点(特記事項を含む)	
	運営主体	運行事業者	系統名	運行区間			【計画目標値:利用者数】		輸送量(人)		収支率(%)				
							A:達成	B:未達成	R2計画	R2実績	(平均乗車回数)	(運行回数)			R1実績
03岡崎 10豊田	名鉄バス株	名鉄バス株	大沼	東岡崎～大沼	HP、スマートフォンでの時刻検索システム、バスロケーションシステムの提供や、コンテンツプロバイダへのデータ提供により、利便性向上に努めた。また、沿線市のバスマップ等への掲載や市のイベントでバスの乗り方教室を開催するなど利用促進に努めた。	A   台風19号による暴風雨のため11便が運休となったが、それ以外は所定の事業計画どおりの運行が実施された。	目標:62,500	実績:39,729(63.6%)	20.1	10.4	1.9	5.6	39.1	18.4	市を跨ぐ利用者は、月平均330人で全体の約9%を占める。その内訳は、通学定期27.3%、ゴールド・シルバー・得々バス18.2%、現金・ICSF(定期以外)45.5%である。鉄道(東岡崎駅)の利用、沿線学校への通学、中心市街地への買い物等の利用者が大部分とされる。 《地域的・フィーダー的系統》 しもやまバス
							※前年度比65.2%	令和元年10月～令和2年2月までは前年比101.0%。   停留所の中で、特に新興住宅が多い真伝町の減少が大きく、企業のリモートワークが進み、通勤利用者が減少したと考えられる。							
03岡崎 10豊田	名鉄バス株	名鉄バス株	岡崎・足助	東岡崎～足助	HP、スマートフォンでの時刻検索システム、バスロケーションシステムの提供や、コンテンツプロバイダへのデータ提供により、利便性向上に努めた。また、沿線市のバスマップ等への掲載や市のイベントでバスの乗り方教室を開催するなど利用促進に努めた。	A   雨量規制による通行止めで16本の運休と、台風19号による暴風雨のため11便が運休となったが、それ以外は所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	目標:154,800	実績:107,246(69.3%)	36.8	28.8	3.6	8.0	56.2	32.9	市を跨ぐ利用者は、月平均1,170人で全体の13.1%を占める。通学定期15.4%、通学定期46.2%、ゴールド・シルバー・得々バス17.9%、現金・ICSFの定期外20.5%。通学利用の比率が高い。鉄道(東岡崎)の利用者、岡崎市内への通学、通院、買い物利用者が大部分とされる。 《地域的・フィーダー的系統》 おいでんバス(旭・足助線、福武・足助線、さなげ・足助線)
							※前年度比78.3%	令和元年10月～令和2年2月までは前年比99.3%。   停留所の中で、特に三菱自動車EV技術センターの減少が大きく、企業のリモートワークが進み、通勤利用者が減少したと考えられる。							
03岡崎 09刈谷・安城・碧南・西尾	名鉄バス株	名鉄バス株	岡崎・安城	東岡崎～安城駅前	HP、スマートフォンでの時刻検索システム、バスロケーションシステムの提供や、コンテンツプロバイダへのデータ提供により、利便性向上に努めた。沿線市ではバスの乗り方教室の開催などにより、利用促進を図った。	A   台風19号による暴風雨のため16便が運休となったが、それ以外は所定の事業計画どおりの運行が実施された。	目標:48,400	実績:44,893(92.3%)	23.3	18.3	1.5	12.3	26.0	21.5	市を跨ぐ利用者は、月平均1,110人で全体の28.0%を占める。通学定期24.3%、ゴールド・シルバー・得々バス5.4%、現金・ICSFの定期外70.3%。鉄道(東岡崎、安城駅)の利用者、沿線にある病院への通院、中心市街地への買い物利用が大部分とされる。 《地域的・フィーダー的系統》 名鉄バス(安城線)、あんくるバス(循環線、安城線、東部線、西部線、作野線)
							※前年度比96.3%	令和元年10月～令和2年2月までは前年比104.7%。   JR安城駅の減少が大きく、企業のリモートワークが進み、通勤利用者が減少したと考えられる。							
03岡崎 09刈谷・安城・碧南・西尾	名鉄東部交通株	名鉄東部交通株	44-1 岡崎・西尾	東岡崎～西尾	藤田医科大学岡崎医療センター開業に合わせてダイヤ改正を行い、利用実態に沿うとともに新たなニーズの取り込みを努めた。沿線の岡崎市内ではイベント等で近隣市町のバスマップを配布し周知を行ったほか、西尾市では高齢者向け公共交通出前講座の開催、通学定期補助や、市内の均一運賃化を行った。	A   補助対象期間の開始日から運休はなく、所定の事業計画どおりの運行が実施された。	目標:176,994	実績:107,924(61.0%)	73.4	63.3	4.4	14.4	77.8	72.6	市を跨ぐ利用者は、月平均1,978人で全体の20%を占めており、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。岡崎市内から西尾市への通勤・通学等の交通手段として利用されているほか、西尾市から岡崎市への通勤・通学利用としても使われている。 《地域的・フィーダー的系統》 名鉄東部交通バス(一色線、寺津線、平坂・中畑線)、(西尾市)六万石くるりんバス、(西尾市)いこまいかー
							※前年度比60.4%	2系統合算前年度比68.0%							
03岡崎 09刈谷・安城・碧南・西尾	名鉄東部交通株	名鉄東部交通株	44-2 岡崎・西尾(藤田医科大学岡崎医療センター)	藤田医科大学岡崎医療センター～西尾	藤田医科大学岡崎医療センター開業に合わせてダイヤ改正を行い、利用実態に沿うとともに新たなニーズの取り込みを努めた。沿線の岡崎市内ではイベント等で近隣市町のバスマップを配布し周知を行ったほか、西尾市では高齢者向け公共交通出前講座の開催、通学定期補助や、市内の均一運賃化を行った。	A   補助対象期間の開始日から運休はなく、所定の事業計画どおりの運行が実施された。	目標:-	実績:13,603	30.3	17.5	2.7	6.5	-	37.6	市を跨ぐ利用者は、月平均1,978人で全体の20%を占めており、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。岡崎市内から藤田医科大学岡崎医療センターや西尾市への通勤・通学・通院等の交通手段として利用されているほか、西尾市から岡崎市への通勤・通学利用としても使われている。 《地域的・フィーダー的系統》 名鉄東部交通バス(一色線、寺津線、平坂・中畑線)、(西尾市)六万石くるりんバス、(西尾市)いこまいかー
							2系統合算前年度比68.0%	病院利用者の利用が抑えられたことや、新系統の周知が不足していたことが考えられる。							
03岡崎 09刈谷・安城・碧南・西尾	名鉄東部交通株	名鉄東部交通株	45-1 岡崎・西尾(西尾市民病院)	岡崎駅西口～若松町～西尾	藤田医科大学岡崎医療センター開業に合わせてダイヤ改正を行い、利用実態に沿うとともに新たなニーズの取り込みを努めた。沿線の岡崎市内ではイベント等で近隣市町のバスマップを配布し周知を行ったほか、西尾市では高齢者向け公共交通出前講座の開催や、通学定期補助を行い、バスの利便性向上に努めた。	A   補助対象期間の開始日から運休はなく、所定の事業計画どおりの運行が実施された。	目標:69,216	実績:43,063(62.2%)	33.6	33.6	3.5	9.6	69.0	64.4	市を跨ぐ利用者は、月平均1,199人で全体の約26%を占めており、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。JR岡崎駅と西尾市中心部を結ぶ市域を跨ぐ路線であり、沿線には西尾市民病院、西尾東高校があり通院、通学の足として地域住民の移動手段を確保している。 《地域的・フィーダー的系統》 名鉄東部交通バス(一色線、寺津線、平坂・中畑線)、(西尾市)六万石くるりんバス、(西尾市)いこまいかー
							※前年度比64.3%	2系統合算前年度比81.8%							
03岡崎 09刈谷・安城・碧南・西尾	名鉄東部交通株	名鉄東部交通株	45-2 岡崎・西尾(西尾市民病院)	岡崎駅西口～藤田医科大学岡崎医療センター～西尾	藤田医科大学岡崎医療センター開業に合わせてダイヤ改正を行い、利用実態に沿うとともに新たなニーズの取り込みを努めた。沿線の岡崎市内ではイベント等で近隣市町のバスマップを配布し周知を行ったほか、西尾市では高齢者向け公共交通出前講座の開催や、通学定期補助を行い、バスの利便性向上に努めた。	A   補助対象期間の開始日から運休はなく、所定の事業計画どおりの運行が実施された。	目標:-	実績:11,723	27.3	16.7	2.3	7.3	-	36.6	市を跨ぐ利用者は、月平均1,199人で全体の約26%を占めており、広域的な路線の役割を果たしていると考えられる。JR岡崎駅と西尾市中心部を結ぶ市域を跨ぐ路線であり、沿線には西尾市民病院、西尾東高校があり通院、通学の足として地域住民の移動手段を確保している。 《地域的・フィーダー的系統》 名鉄東部交通バス(一色線、寺津線、平坂・中畑線)、(西尾市)六万石くるりんバス、(西尾市)いこまいかー
							2系統合算前年度比81.8%	主に通院・通学等に利用されている路線であり、新型コロナウイルスによる移動需要の変化により、利用者数が大幅に減少していると考えられる。							
03岡崎 09刈谷・安城・碧南・西尾	安城市	東伸運輸株	61 あんくるバス(東部線)	北部福祉センター～北部福祉センター	利用促進のためのチラシ等を配布する際、おすすりできるだけ分かりやすく気軽なバスを使ってもらえるように情報提供を行った。また、Googleマップの経路検索に対応し、利便性向上を図った。	A   台風19号による暴風雨のため8便が運休となったが、それ以外は運休や大幅な遅延もなく、所定の事業計画どおりの運行が実施されている。	目標:31,000	実績:26,025(84.0%)	28.9	26.9	3.9	6.9	11.1	8.3	市を跨ぐ利用者は184人/月と想定され、広域的な路線として役割を果たしていると考えられる。また、鉄道駅への乗換利用や、通勤・飲食・娯楽等のためお出掛け利用者が多いと考えられる。 《地域的・フィーダー的系統》 名鉄バス安城線、あんくるバス(北部線、循環線、安祥線)
							※前年度比74.4%	令和2年2月までは、前年の利用者数で推移していたが、3月以降、新型コロナウイルスの影響により減少した。4、5月は前年比約4割まで減少していたが、9月には前年比約7割まで回復した。							